

# 美術館だより

企画展案内

## シャガール名作版画展

会期 7月7日(土)～8月19日(日)

会場 県立美術館



▲「サーカス」より 1967年

### 観覧料

一般・大学生 720円(560円)  
高校生 510円(410円)  
小・中学生 360円(250円)  
※( )内は20名以上の団体料金

休館日 毎週月曜日

後援 フランス大使館

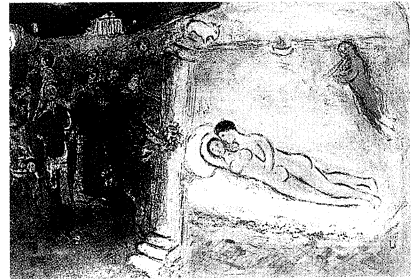
### 夜間開館のお知らせ

7月7日～8月19日の会期中の  
毎土曜日は午後8時まで企画展  
をご覧いただけます。(入館は7  
時30分まで)

1887年7月7日、白ロシアのヴィテブスクに生れたマルク・シャガール(1887～1985)は、いまや世界で最も親しまれている画家の一人といってもいいでしょう。ほぼ1世紀にわたる波瀾の生涯を送ったシャガールは、数多くの版画作品を制作したことも知られています。その作品総数は二千点にも及ぶといわれ、質量ともに今世紀の版画作家としては群を抜く存在といえましょう。

一口に版画といっても、さまざまな技法がありますが、シャガールは石版(リトグラフ)、銅版(エッチング、ドライポイント、アクアチント)、木版、リノカット、モノタイプなどあらゆる可能性に挑み、没する直前の1985年までその旺盛な創作意欲は衰えませんでした。

この展覧会は、シャガールが制作した版画のなかでも特に著名な「サーカス」「死せる魂」「ダフニスとクロエ」「オデュッセイア」のシリーズを中心に、約250点の作品を選び展示するもので、「版画家シャガール」の全貌を知るまたとない機会となるでしょう。色彩と幻想の織りなすシャガールの詩情ゆたかな世界を、ぜひご鑑賞ください。



▲「ダフニスとクロエ」より  
結婚 1957～60年



▲「オデュッセイア」より  
エウピテス 1974～5年



▲「ダフニスとクロエ」より 小牧場の春 1957～60年